米倉山地域遺跡詳細分布調査報告書

1989

山梨県東八代郡
中道町教育委員会

序　　文

古墳のつくられた時代から甲斐の交通の要衝であった山梨県東八代郡中道町は、曽根丘陵を舞台に笛吹川沿いに甲府盆地、南アルプスを遠望できる美しい自然と古墳群をはじめとする歴史の豊かなところである。

今、先人の功績と地の利を生かして21世紀に向けての町づくりを計画、推進し躍動を続けている町である。

曽根丘陵の「上の平」において昭和54年、全国的に稀な大小120基の方形周溝墓群が発掘されたこと、更には付近の前方後円墳の大丸山塚古墳や銚子塚附丸山塚古墳など、一帯を含めて「県立甲斐風土記の丘曽根丘陵公園事業」が進められ、近くオープンの運びとなる。

町でもすでにスポーツ広場を建設供用開始し、隣接地に屋内体操場も建設することになっている。

町では活力と文化の薫り高い町をめざして町指定の文化財を含め、「左右口の里民芸館」等の観光施設の充実を図り、ユニークな町づくりに力を注いでいる。

更に、21世紀に向けての町の施策として町内米倉山一帯を甲府地域テクノポリス構想の中で学術研究機関の設置予定地に考えており、この施設を誘致することにより、複合機能を備えた都市にしようとの計画が進められている。

今般、文化財保護法に基づき、米倉山地域遺跡詳細分布調査を実施し、予定どおりの終了をみてここに報告書刊行の運びとなった。

この報告書が文化財保護活用の意義を十分生かし、これからの調和のとれた町民・県民のための開発にも貢献することを祈るとともに、御協力を戴いた地権者、ならびに作業協力者各位、また当初からご指導を戴いた山梨考古学協会・山梨文化財研究所をはじめ諸機関の先生方に深く敬意を表する次第である。

1989年３月

中道町教育委員会

教育長　小沢　義正

例　　言

1．本書は、中道町教育委員会が国と県の補助を受けて実施した山梨県東八代郡中道町下向山米倉山の遺跡詳細分布調査の報告書である。

2．本調査は、甲府地域テクノポリス開発構想曽根丘陵地帯開発区域内における遺跡範囲確認調査であり、昭和62・63年度に実施したものである。

3．本調査の担当ならびに本書における執筆は中山千恵、林部 光が行った。

4．出土品の実測およびトレースは、整理作業参加者矢房静江・宮川菊江・渡辺かほるが行った。

5．第5図「昭和62年度調査出土石器(1/1)」についての実測およびトレースは山梨県埋蔵文化財センター保坂康夫氏に依頼した。

6．遺物写真撮影は林部が行った。

7．本書における出土品および写真・図面については中道町教育委員会が保管している。

8．調査から報告書作成まで下記の方々から御協力・御助言を戴いた。記して感謝申し上げる次第である。(敬称略・順不同)

米倉山調査地内地権者の方々　山梨県考古学協会　山梨文化財研究所　萩原三雄
田代　孝　末木　健　新津　健　坂本美夫　米田明訓　保坂康夫　中山誠二
河西　学　古谷健一郎　斉藤修二　堀ノ内泉

目　　次

序文

例言

米倉山遺跡詳細分布調査 …… 1

第Ⅰ章　調査に至る経過 …… 1

第Ⅱ章　調査組織 …… 1

第Ⅲ章　調査地域の位置と環境 …… 2

第Ⅳ章　調査の経過と方法 …… 3

第Ⅴ章　調査の成果 …… 3

昭和62年度調査 …… 3

1．調査の概要 …… 3

2．試掘坑の位置 …… 3

3．調査報告 …… 3

(1)　層序 …… 3

(2)　遺構・遺物 …… 9

昭和63年度調査 …… 11

1．調査の概要 …… 11

2．試掘坑の位置 …… 11

3．調査報告 …… 11

(1)層序 …… 11

(2)遺構・遺物 …… 13

第Ⅵ章　まとめ …… 16

引用・参考文献 …… 17

挿図目次

第１図　中道町平面図ならびに調査区域図 …… 2
第２図　昭和62年度調査試掘坑配置図 ……7～8
第３図　昭和62年度調査出土土器（その１） …… 9
第４図　昭和62年度調査出土土器（その２） ……10
第５図　昭和62年度調査出土石器（1/1） ……11
第６図　昭和63年度調査試掘坑配置図 ……12
第７図　昭和63年度調査出土土器 ……14

表　目　次

第１表　昭和62年度調査試掘坑一覧表 …… 4
第２表　土層形態別統計 …… 5
第３表　昭和63年度調査試掘坑一覧表 ……11
第４表　土層形態別統計 ……13

図版目次

図版１　米倉山遠景　米倉山頂上に存する菖蒲ヶ池　菖蒲池遺跡
図版２　小平沢遺跡　米倉山Ｂ遺跡　小平遺跡
図版３　女沢遺跡　昭和62年度調査参加者　試掘坑No. 9
図版４　試掘坑No.47　試掘坑No.74土壙　試掘坑No.75石積
図版５　試掘坑No.82土器出土状況　試掘坑No.83土壙　試掘坑No.93
図版６　昭和63年度調査参加者　作業風景　試掘坑No. 1
図版７　試掘坑No.13　試掘坑No.13土壙　試掘坑No.17
図版８　昭和62年度調査試掘坑No.48・No.82・No.74出土土器　昭和62年度調査出土土器(1)(2)
図版９　昭和62年度調査試掘坑No.56出土土器　昭和62年度調査出土土器(3)(4)
図版10　昭和62年度調査出土土器(5)(6)(7)
図版11　昭和62年度調査出土土器(8)(9)　昭和62年度調査出土石器
図版12　昭和63年度調査出土土器(1)(2)

米倉山地域遺跡詳細分布調査

第Ⅰ章　　調査に至る経過

山梨県ですすめている甲府地域テクノポリス開発構想に伴って東八代郡中道町も中央自動車道の開設が大きく影響し、事業対象地として注目されている。また、昭和59年、下曽根地区に10haという大規模な食品工業団地がつくられ、自然環境、交通の便の良さなどが背景となり現在でも敷地面積拡大工事が行われている。

このような状況下において今回の遺跡詳細分布調査の行われた米倉山は、立地形態が優れており、以前から着目されていた地域である。しかし、昭和61年度に縄文・弥生時代の土器を中心に遺物を採集し、遺跡の存在が知られており、今回は既知の遺跡の範囲を詳細に把握することを目的に調査は行われた。

第Ⅱ章　　調査組織

調査主体・機関　中道町教育委員会

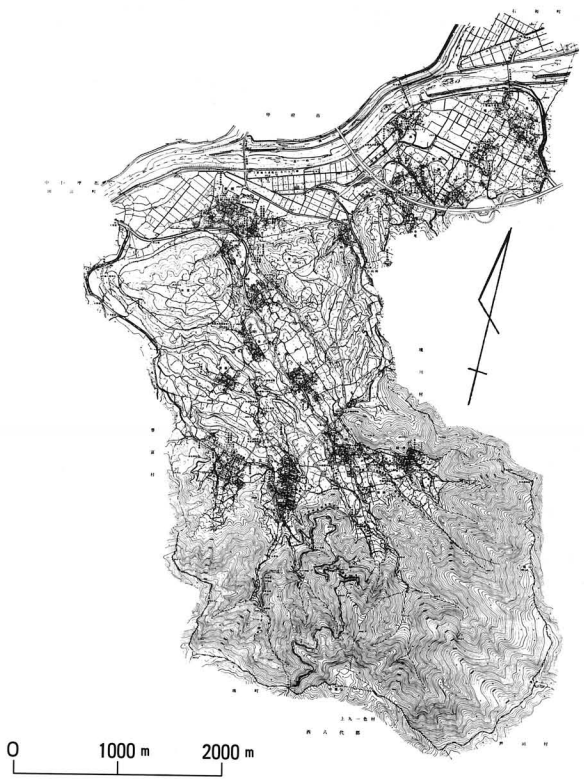
調査担当者　中山千恵　（山梨文化財研究所）
林部　光　（中道町教育委員会）

作業員　出月遊亀子　宇野富貴子　長田明美　長田可祝　長田和子　長田純子　小林ヶサエ　小林としみ　名取洋子　矢崎よ志子　（昭和62年度）
石原はつ子　出月遊亀子　梅林はなの　長田可祝　五味信子　田中弘子　（昭和63年度）

第Ⅲ章　調査地域の位置と環境

米倉山は山梨県東八代郡中道町下向山地内に所在する。

中道町は、東西3.5㎞南北6.7㎞で不規則な長方形を呈しており、米倉山は東北東から西南西に約15㎞にわたってのびる曽根丘陵の一角に位置する。この丘陵は海抜270mから400mのところにあり、当山はその頂点で海抜380mを測る。地形的には甲府盆地に急傾斜をもってその様相を示すが後背地はなだらかに傾斜しており、そのまま海抜900mを越える山々に向かってのびている。更に、米倉山を囲むようにして北側に心経寺川、稲川、西側に七覚川、南側には滝戸川があり、米倉山の北を流れる笛吹川に注いでいる。



第１図　中道町平面図ならびに調査区域図

中道町は以前から遺跡の宝庫として知られ、今回調査した米倉山の周辺を眺めても立石遺跡・金沢天神遺跡・下向山遺跡・上の平遺跡や風土記の丘公園内に存する前期古墳群などがあり、先土器時代から古墳時代にかけて原始・古代人の生活基盤が営まれていたことがうかがえる。更に、米倉山においても先人の研究者による報告、また、最近の分布調査の結果から、米倉山Ａ遺跡・米倉山Ｂ遺跡・清水遺跡・久保沢遺跡・小平遺跡・女沢遺跡・小平沢遺跡・三枚畑遺跡・菖蒲池遺跡をはじめ、10基を超える無名墳の存在が知られている。

第IV章　調査の経過と方法

今回の調査は、昭和61年度に行われた分布調査によって確認された遺跡の範囲を詳細に把握することを目的に実施された。

試掘坑は、1.0m×2.0mとし、遺物散布状況から判断し、7m～40m間隔で設定。

試掘坑の数は、昭和62年度調査で102、昭和63年度調査では53、合計155ヶ所である。

調査期間は、昭和62（1987）年度が 11月19日から12月11日まで、昭和63（1988）年度が10月25日から11月10日までである。

第V章　調査の成果

昭和62年度調査

1、調査の概要

昭和61年度の分布調査結果を基本とし、女沢遺跡、米倉山A遺跡、清水遺跡、久保沢遺跡、前山・三畑遺跡、小平遺跡、米倉山B遺跡、小生坂遺跡、小平沢遺跡の各々の範囲を詳細に把握することを目的に行われた。

2、試掘坑の位置

102本の試掘坑の位置を第2図で一括にまとめた。

3、調査報告

(1)　層序

土層は基本的に4つの形態に分けることができる。

第1形態

耕　作　土
暗褐色土層
ロ　ー　ム　層

この形態における暗褐色土層は非常に軟質である。ローム層はソフトロームであり、今回の調査では確認しなかったが、これより数十cm下にはハードローム層が存すると思われる。

第2形態

耕　作　土
暗褐色土層
暗褐色粘質土層
暗茶褐色粘質土層

この形態における暗褐色土層はやや粘性を有すが軟質であり、暗褐色粘質土層へと続き粘性を増す。両層には拳大の小石が認められるものもある。

暗茶褐色粘質土層は非常に硬質であり、風化礫を含む場合もある。また、耕作土の直下にこの層が表出する試掘坑も認められる。

第3形態

耕　作　土
暗褐色土層
風化礫層

この形態における暗褐色土層は軟質であり、風化礫を含む場合がある。風化礫層における礫は、第2形態暗茶褐色粘質土層中におけるそれよりももろく、小さい。

第4形態

耕　作　土
暗褐色粘質土層
青灰色粘質土層
青灰色粘土層

この形態には「粘土層」が認められる。耕作土下の暗褐色粘質土層は比較的軟質であり、風化礫の混入が若干認められる。

以上4種の土層形態をもとにして102本の試掘坑を下表のようにまとめるとする。

第1表　昭和62年度調査試掘坑一覧表

坑No.	遺跡名	地　目	土層形態	備　　考
1	前山・三畑	果樹畑	1	時期不明の土器出土
2	前山・三畑	果樹畑	2	遺物なし
3	前山・三畑	果樹畑	2	遺物なし
4	前山・三畑	果樹畑	2	遺物なし
5	前山・三畑	桑　畑	2	遺物なし
6	前山・三畑	桑　畑	2	黒曜石、時期不明の土器出土
7	前山・三畑	桑　畑	2	遺物なし
8	前山・三畑	桑　畑	2	時期不明の土器出土
9	前山・三畑	桑　畑	2	遺物なし
10	久保沢	桑　畑	3	遺物なし
11	久保沢	桑　畑	3	遺物なし
12	久保沢	桑　畑	2	遺物なし
13	久保沢	桑　畑	2	遺物なし
14	久保沢	桑　畑	2	遺物なし
15	久保沢	果樹畑	2	遺物なし
16	久保沢	桑　畑	2	遺物なし
17	清水	桑　畑	2	遺物なし
18	清水	桑　畑	2	遺物なし
19	清水	桑畑果樹畑	2	縄文土器が出土
20	清水	桑畑果樹畑	2	遺物なし
21	清水	果樹畑	2	遺物なし
22	清水	果樹畑	2	遺物なし
23	清水	桑　畑	2	遺物なし
24	清水	桑　畑	2	遺物なし

坑No.	遺跡名	地　目	土層形態	備　　考
25	清水	桑　畑	2	遺物なし
26	清水	桑　畑	2	遺物なし
27	清水	桑　畑	2	遺物なし
28	清水	桑　畑	2	遺物なし
29	清水	桑　畑	2	遺物なし
30	清水	桑　畑	2	遺物なし
31	小平	桑　畑	2	遺物なし
32	小平	桑　畑	2	遺物なし
33	小平	桑　畑	2	遺物なし
34	小平	桑　畑	2	遺物なし
35	小平	桑　畑	2	遺物なし
36	小平	桑　畑	4	古墳時代と思われる土器出土
37	小平	桑　畑	4	遺物なし
38	小平	桑　畑	4	遺物なし
39	小平	桑　畑	2	時期不明の土器出土
40	小平	桑　畑	2	遺物なし
41	小平	桑　畑	2	遺物なし
42	小平	桑　畑	1	遺物なし
43	小平	桑　畑	1	遺物なし
44	小平	桑　畑	1	遺物なし
45	小平	桑　畑	1	遺物なし
46	小平	桑　畑	1	遺物なし
47	米倉山B	畑	1	遺物なし
48	米倉山B	果樹畑	4	弥生・古墳時代の土器出土

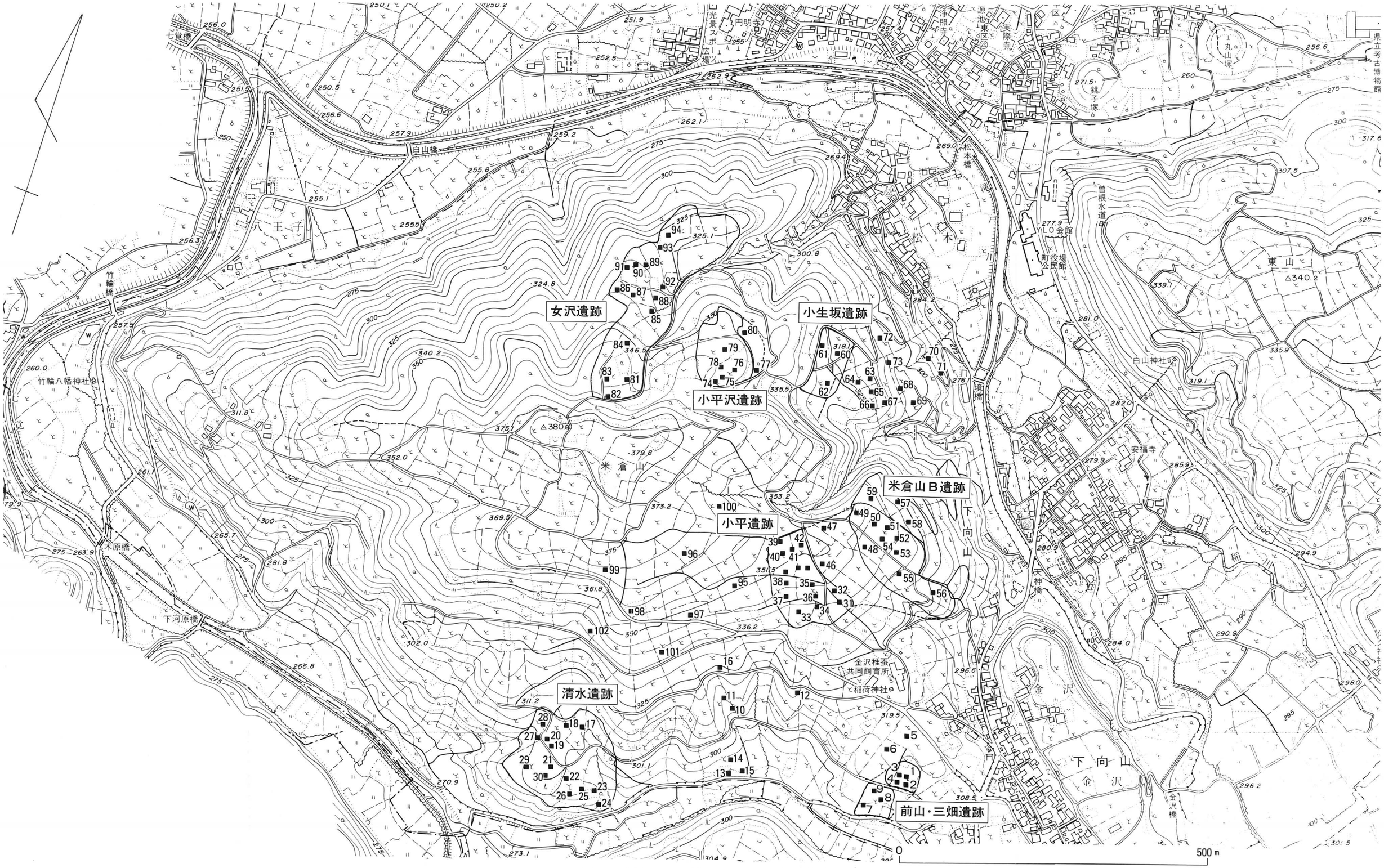
坑No.	遺跡名	地　目	土層形態	備　　考
49	米倉山B	桑　畑	1	縄文時代の土器出土
50	米倉山B	桑　畑	1	縄文時代の土器出土
51	米倉山B	桑　畑	1	弥生・古墳時代の土器出土
52	米倉山B	桑　畑	1	弥生・古墳時代の土器出土
53	米倉山B	桑　畑	1	遺物なし
54	米倉山B	桑　畑	1	弥生～古墳時代と思われる土器出土
55	米倉山B	果樹畑	2	弥生～古墳時代と思われる土器出土
56	米倉山B	桑　畑	2	弥生～古墳時代と思われる土器出土
57	米倉山B	果樹畑	2	遺物なし
58	米倉山B	果樹畑	2	遺物なし
59	米倉山B	桑　畑	2	遺物なし
60	小生坂	畑	2	平安時代の土器片出土
61	小生坂	畑	2	遺物なし
62	小生坂	果樹畑	2	遺物なし
63	小生坂	桑　畑	2	遺物なし　礫が多く混入
64	小生坂	桑　畑	2	遺物なし　礫が多く混入
65	小生坂	桑　畑	2	遺物なし
66	小生坂	桑　畑	2	遺物なし
67	小生坂	桑　畑	2	遺物なし
68	小生坂	桑　畑	2	遺物なし
69	小生坂	桑　畑	2	遺物なし
70	小生坂	桑　畑	2	遺物なし
71	小生坂	桑　畑	2	遺物なし
72	小生坂	畑	2	遺物なし
73	小生坂	桑　畑	2	遺物なし
74	小平沢	畑	1	縄文・古墳時代の土器、径約140cmの土壙が検出
75	小平沢	畑	1	古墳時代の土器、古墳の基底部と思われる石積が検出
76	小平沢	畑	2	先土器時代の石器、弥生時代の土器出土
77	小平沢	果樹畑	2	遺物なし
78	小平沢	果樹畑	1	遺物なし
79	小平沢	桑　畑	2	遺物なし
80	小平沢	桑　畑	2	遺物なし
81	女沢	果樹畑	2	遺物なし
82	女沢	果樹畑	2	平安時代の皿が出土
83	女沢	果樹畑	1	時期不明の土壙を検出
84	女沢	畑	撹乱	遺物なし
85	女沢	桑　畑	2	遺物なし
86	女沢	果樹畑	2	縄文時代の土器が出土
87	女沢	畑	撹乱	弥生時代の土器が出土
88	女沢	桑　畑	2	弥生・古墳時代の土器が出土
89	女沢	畑	撹乱	弥生時代のものと思われる土器が出土
90	女沢	畑	撹乱	弥生時代のものと思われる土器が出土
91	女沢	畑	撹乱	弥生時代のものと思われる土器が出土
92	女沢	桑　畑	2	弥生時代のものと思われる土器が出土
93	女沢	桑　畑	1	弥生時代のものと思われる土器が出土
94	女沢	桑　畑	2	弥生時代のものと思われる土器が出土
95	遺跡周辺	桑　畑	2	遺物なし
96	遺跡周辺	桑　畑	2	遺物なし
97	遺跡周辺	果樹畑	2	遺物なし
98	遺跡周辺	桑　畑	2	遺物なし
99	遺跡周辺	桑　畑	2	遺物なし
100	遺跡周辺	桑　畑	2	遺物なし
101	遺跡周辺	桑　畑	2	遺物なし
102	遺跡周辺	桑　畑	2	遺物なし

第２表　土層形態別統計（除、攪乱）

	確認坑数（x）	$\frac{x\times100(\%)}{(102-5)}$	遺構・遺物検出坑数	遺構・遺物非検出坑数
第１形態	18	18.5	10	8
第２形態	73	75.3	13	60
第３形態	2	2.1	0	2
第４形態	4	4.1	2	2
計	97	100.0	25	72

左の表は第１表を数字でまとめたものである。1.0m×2.0mという試掘坑であるため断言することはできないが、米倉山の頂上部を除いた昭和62年度調査対象地においては第２形態のような土層をなす場合がかなり多いようである。

更に、ローム層が確認されたところでは比較的多く遺構・遺物が検出されていることがわかる。

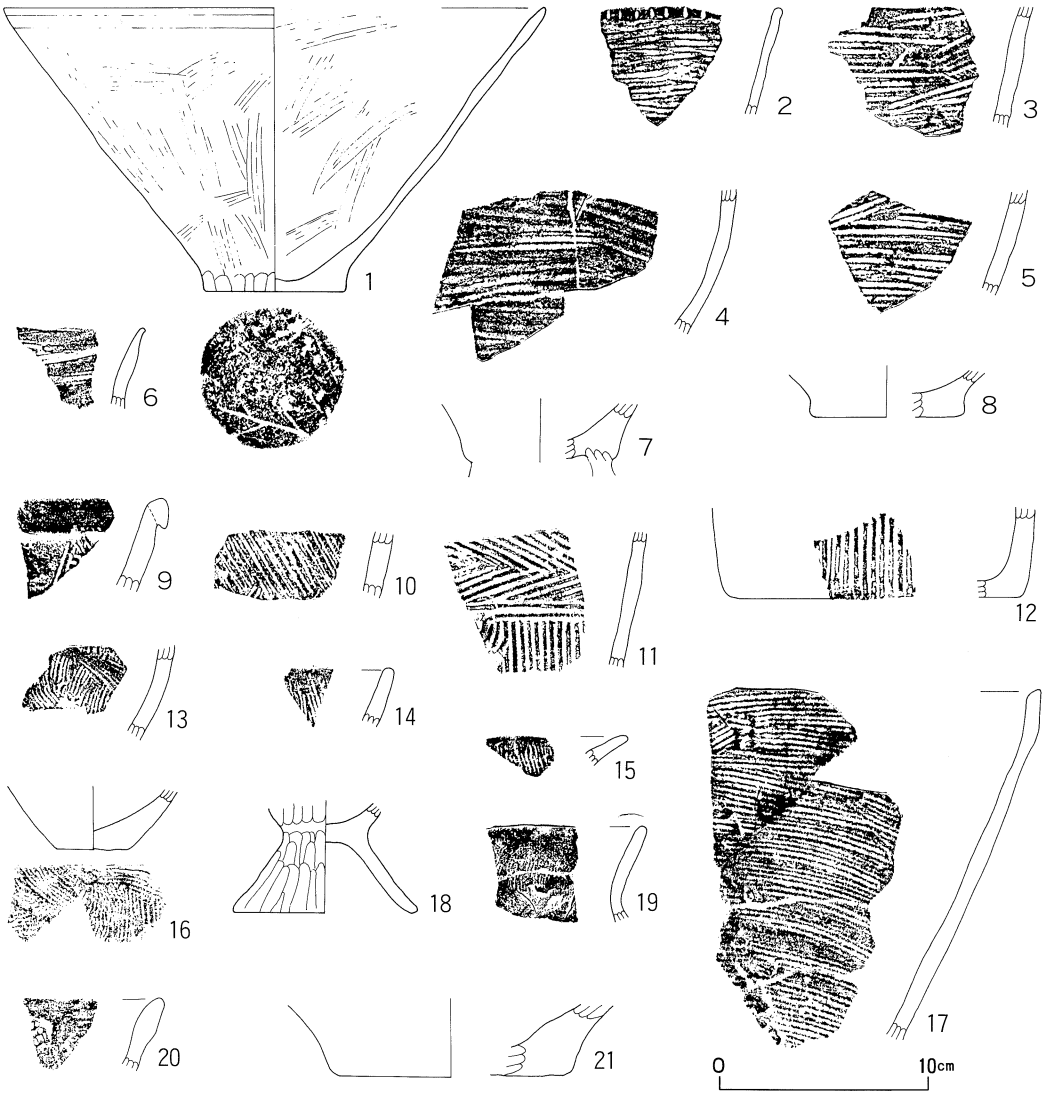


第２図　昭和62年度調査試掘坑配置図（■試掘坑）

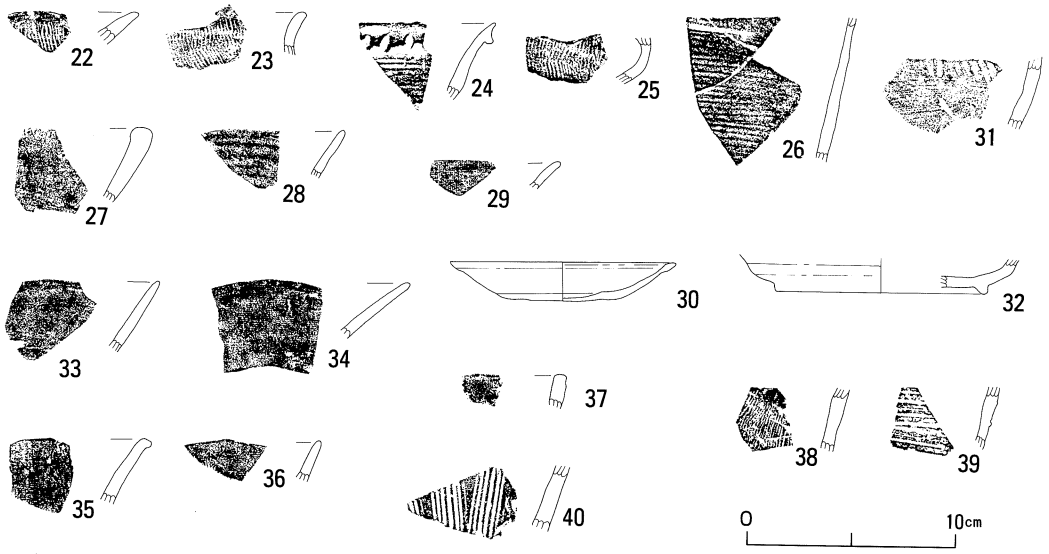
(2) 遺構・遺物

昭和62年度調査では102本の試掘坑のうち、遺構が確認されたのは3ヶ所だけであった。坑No.75からは古墳の基底部と思われる石積が検出されたが、周囲には墳丘や石室らしきものがなく、一概に断言することはできない。また、坑No.74からは古墳時代のものと思われる土壙が検出された。径約140cmの円形を呈すと思われ、深さは約50cmを測る。更に、坑No.83からも土壙らしき遺構が認められており、時代を判定する遺物がないものの、付近の試掘坑からは平安時代の土器が出土しており、若干の手掛りになると考えられる。

遺物では、28ヶ所の試掘坑において確認されている。



第3図　昭和62年度調査出土土器（その1）



第４図　昭和62年度調査出土土器（その２）

第３・４図は、昭和62年度調査で出土した土器である。

１～８は坑No.48から出土した土器である。１は弥生時代後期の遺物である。外面に粗い、内面にやや細かいハケ目による調整が施されている。２～６は中期の条痕文を有する土器である。中でも２は口唇に刻み目を有する。

９～12は坑No.50から出土した土器である。11は平行沈線によって３段の横位文様帯を形成、その上部には羽状文、下部には縦の平行沈線文が施されており、縄文中期初頭五領ヶ台式に比定されるいわゆる集合沈線文土器である。

13～15は坑No.51から検出され、弥生時代の遺物である。いずれも外面に細かいハケ目が施されている。14・15は素縁である。

16は坑No.55から検出されており、弥生時代の土器底部である。比較的細かいハケ目を底部まで有する。

17は坑No.56から出土した条痕文土器である。

18～21は坑No.74から出土した土器である。18は古墳時代前期五領式に比定される台付甕である。19は弥生時代の素縁で外面に細かいハケ目を有する土器である。20には縄文が施されている。

22・23は坑No.75から検出された土器である。弥生時代のものと思われ素縁である。

24～26は坑No.76から検出された土器である。24・26は条痕文、25にはハケ目が細かく施される。

27～30は坑No.82から出土し、11世紀以降に比定される土師器である。

31は条痕文を有する土器で坑No.87から出土した。

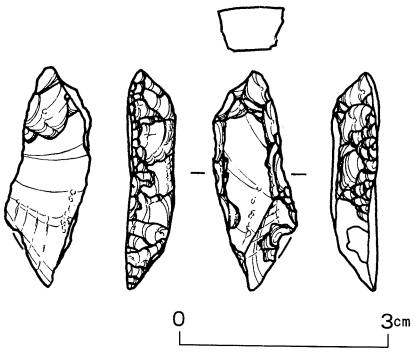
32～34は坑No.88から出土したものである。32は須恵器である。33・34は素縁であり、調整を有さない。弥生時代の遺物と思われる。

35は坑No.89から出土した土器である。弥生時代のものと思われるが、調整は受けていない。

36は坑No.92から出土したものであるが時期等は不明である。

37～40は坑No.93から出土した土器である。38は外面に細かいハケ目が施される。39は条痕文土器である。40については中世の練鉢と思われる。

また、第5図の石器は坑No.76から検出されている。先端部7㎜ほどの区間で稜上ないしは対向剝離がなされており、素材は不明であるが縦剝ぎの可能性がある。先土器時代の遺物、いわゆるナイフ形石器である。



第5図　昭和62年度調査出土石器（1/1）

昭和63年度調査

1、調査の概要

昭和61年度の分布調査結果を基本として米倉山頂上部を中心に菖蒲池遺跡の範囲を詳細に把握することを目的に調査は行われた。

2、試掘坑の位置

53本の試掘坑の位置を第6図で一括にまとめた。

3、調査報告

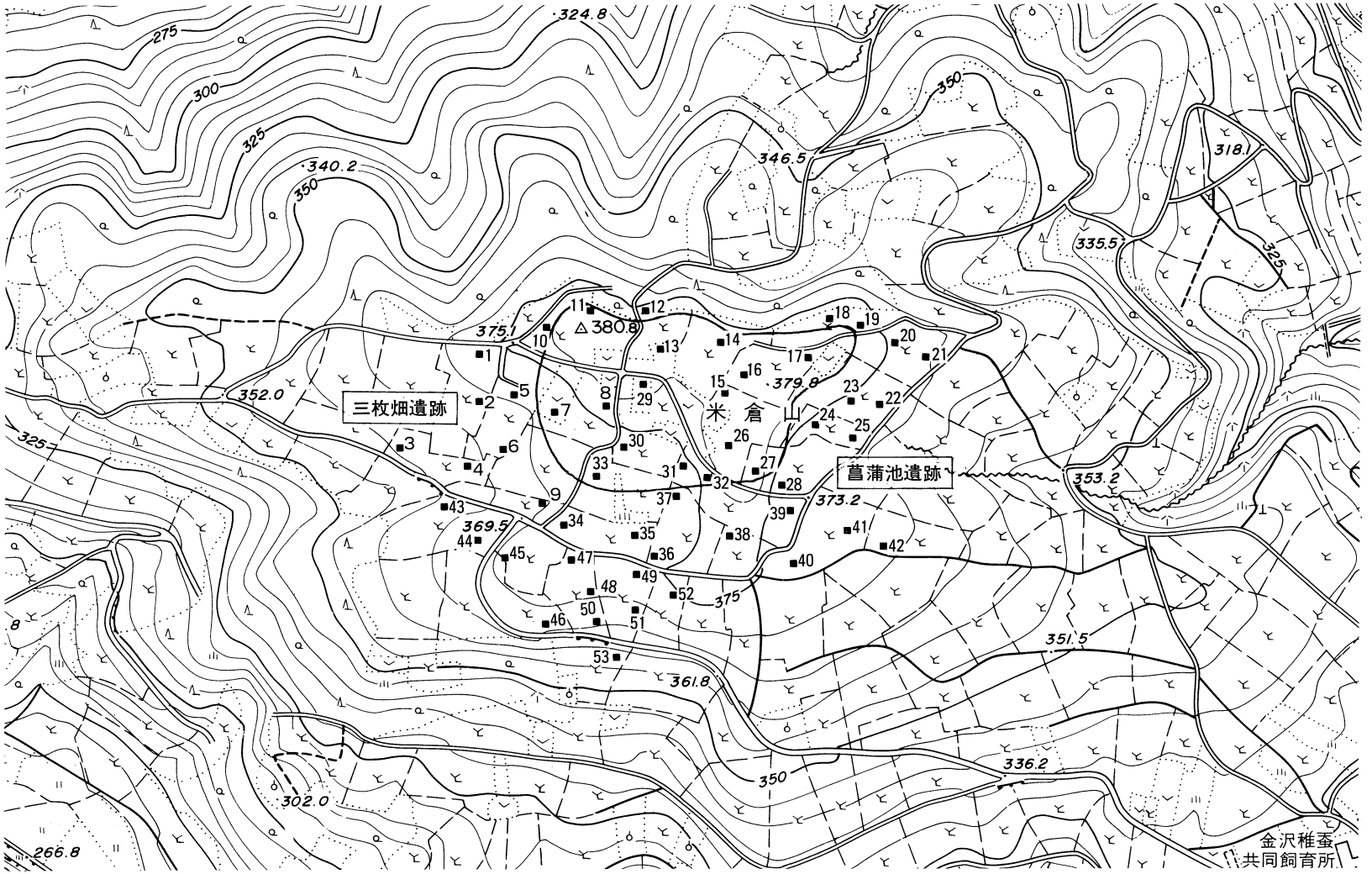
(1)　層序

土層は基本的に2種類に分けられる。1つは、暗褐色土層下にロームを有する形態である。これについては4種の昭和62年度調査土層区分中第1形態に相当し、1つは、暗褐色土層・暗褐色粘質土層下に暗茶褐色粘質土層を有する形態である。これについては前述の第2形態に相当する。

第3表　昭和62年度調査試掘坑一覧表

坑No.	遺跡名	地　目	土層形態	備　　考
1	菖蒲池	桑　畑	1	遺物なし　若干の礫を認める
2	菖蒲池	桑　畑	2	遺物なし
3	菖蒲池	桑　畑	2	遺物なし
4	菖蒲池	桑　畑	2	遺物なし　風化礫混入
5	菖蒲池	畑	2	遺物なし　若干ロームが混入
6	菖蒲池	畑	2	遺物なし
7	菖蒲池	畑	2	遺物なし

坑No.	遺跡名	地　目	土層形態	備　　考
8	菖蒲池	畑	2	遺物なし
9	菖蒲池	桑　畑	2	遺物なし　風化礫混入
10	菖蒲池	桑　畑	1	遺物なし
11	菖蒲池	桑　畑	1	遺物なし
12	菖蒲池	果樹畑	2	遺物なし
13	菖蒲池	果樹畑	1	弥生式土器出土　土壙検出
14	菖蒲池	果樹畑	1	遺物なし



第6図　昭和63年度調査試掘坑配置図（■試掘坑）

0　250m

坑No.	遺跡名	地　目	土層形態	備　　考
15	菖蒲池	畑	1	撹乱が顕著 縄文・弥生式土器が出土
16	菖蒲池	果樹畑	1	弥生式土器が出土
17	菖蒲池	畑	1	遺物なし
18	菖蒲池	畑	1	遺物なし　風化礫混入
19	菖蒲池	畑	1	遺物なし　風化礫混入
20	菖蒲池	畑	2	遺物なし
21	菖蒲池	畑	2	遺物なし
22	菖蒲池	荒　地	2	遺物なし
23	菖蒲池	荒　地	2	遺物なし
24	菖蒲池	果樹畑	2	遺物なし
25	菖蒲池	畑	2	遺物なし
26	菖蒲池	畑	1	弥生時代の土器が出土
27	菖蒲池	畑	1	時期不明の土器が出土
28	菖蒲池	畑	1	弥生時代の土器が出土
29	菖蒲池	畑	2	遺物なし
30	菖蒲池	果樹畑	2	遺物なし
31	菖蒲池	畑	1	時期不明の土壙が検出
32	菖蒲池	果樹畑	1	遺物なし
33	菖蒲池	畑	2	縄文・弥生時代の土器が出土
34	菖蒲池	桑　畑	2	遺物なし
35	菖蒲池	桑　畑	2	遺物なし
36	菖蒲池	桑　畑	2	遺物なし
37	菖蒲池	桑　畑	2	遺物なし
38	菖蒲池	桑　畑	2	遺物なし
39	菖蒲池	果樹畑	1	遺物なし　風化礫混入
40	菖蒲池	桑　畑	1	遺物なし
41	菖蒲池	桑　畑	2	遺物なし
42	菖蒲池	桑　畑	2	遺物なし　風化礫混入
43	菖蒲池	桑　畑	2	遺物なし　風化礫混入
44	菖蒲池	桑　畑	2	平安時代の土器が出土 風化礫混入
45	菖蒲池	桑　畑	2	遺物なし　風化礫混入
46	菖蒲池	桑　畑	2	遺物なし　風化礫混入
47	菖蒲池	果樹畑	2	遺物なし　風化礫混入
48	菖蒲池	桑　畑	2	遺物なし　風化礫混入
49	菖蒲池	果樹畑	2	遺物なし　風化礫混入
50	菖蒲池	桑　畑	2	遺物なし　風化礫混入
51	菖蒲池	桑　畑	2	遺物なし　風化礫混入
52	菖蒲池	桑　畑	2	遺物なし　風化礫混入
53	菖蒲池	桑　畑	2	遺物なし　風化礫混入

第4表　土層形態別統計

	確認坑数（x）	x/53×100(%)	遺構・遺物検出坑数	遺構・遺物非検出坑数
第1形態	17	32.0	5	12
第2形態	36	68.0	2	34
計	53	100.0	7	46

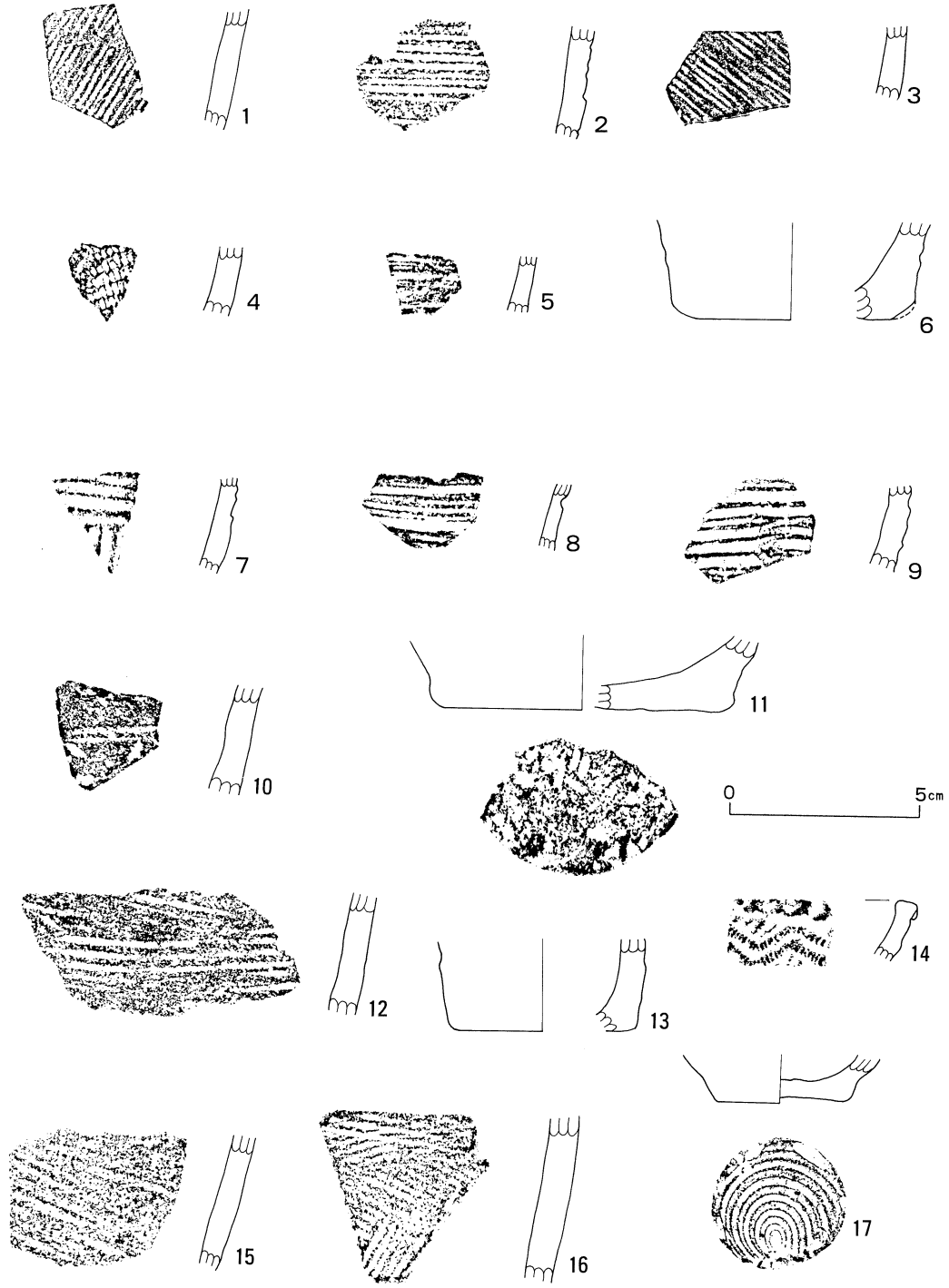
⑵　遺構・遺物　（第7図）

53本の試掘坑のうち2ヶ所で土壙が検出されている。坑No.13からは弥生時代の土器を伴出させる土壙が認められた。径100cm前後を測り、円形プランを呈すと思われる。坑No.31からは時期不明の土壙が検出された。径120cm程の円形プランを呈すと推測される。

遺物は全体の13%、7ヶ所の試掘坑から出土している。

第7図1～3は坑No.13から出土した土器である。全て条痕文土器である。

4～6は坑No.15から出土したものである。4は縄文、5は条痕文を有する土器である。6については無文であり時期的な判断は難しい。



第７図　昭和63年度調査出土土器

7は弥生式土器であり、坑No.16から検出された。

8～9は坑No.26から出土した土器である。共に条痕文を有す。

10は無文であり時期不明の土器である。坑No.27から出土した。

11～13は坑No.28から出土した弥生時代の土器である。12については条痕文が施されている。

14～16は坑No.33から出土したものであり、14には縄文が認められる。

17は坑No.44の耕作土中から出土した土器底部回転糸切り痕を有する遺物である。

第VI章　　まとめ

昭和61年度の分布調査結果をベースに今回２ヶ年にわたり調査を実施し、各遺跡の範囲、時期的区分を詳細に把握することができた。以下では調査結果の概要を遺跡ごとに説明し、まとめとする。

前山・三畑遺跡

米倉山の南斜面下部に立地している。土層状況は全体的に粘性が非常に強く、しまりのある暗褐色土層が50cm以上堆積している。時期不明の土器がわずかに出土している。

久保沢遺跡

前山・三畑遺跡と同様に南斜面に立地しており、土層堆積状況もほぼ同じ様相を示す。試掘坑からの遺構・遺物は検出されなかった。

清水遺跡

上記２遺跡と同じ様相を示す。試掘坑から縄文時代の土器が１片出土している。

小平遺跡

米倉山の南斜面に立地するが、前述の遺跡より傾斜は緩やかである。遺跡の南側、西側地点では上層に前述の遺跡より粘性、しまりの弱い暗褐色土が30cm程認められ、第２層にそれよりも粘性、しまりの強い暗褐色の土層が続く。また、遺跡の東側では、他の地点とは異なり第２層黄褐色土（ソフトローム）、第３層黄褐色土（ハードローム）が確認できた。坑No.36からは古墳時代と思われる土器片が出土した。

米倉山Ｂ遺跡

米倉山の東斜面に立地し、傾斜は東側に向うにつれて急勾配となる。土層状況は、第１層暗褐色土（耕作土）が20～30cm、第２層暗褐色土が15cm前後、第３層黒褐色土が30cm、第４層黄褐色土（ソフトローム）が30cm前後あり、更に下層の黄褐色土（ハードローム）に連なる。これは坑No.47の土層であるが、場所によっては第２層、第３層は認められない。

土器は、第２層から第４層にかけて遺跡内の全域にわたって出土している。特に坑No.48付近は黒褐色土層が１ｍ以上堆積しており、浅い谷を形成する。この谷部からは弥生時代中期の土器が出土した。

小生坂遺跡

米倉山の北東斜面に存し、土層は南斜面の下部と同じであり、第１層は粘性・しまり、ともに強

い暗褐色土が20～30cmあり、第2層は拳大の礫が多量に混入した暗褐色土である。地形が比較的平らな上部より平安時代の土器片が数点出土している。

小平沢遺跡

米倉山の北側平坦地に立地する。遺跡の北側は1段高くなっており、15～20cmほどで地山の粘質土層となる。坑No.76からは先土器時代の石器が1点出土している。また、遺跡南側の坑No.74・坑No.75からは古墳時代の土壙と古墳の基底部と思われる石積みが検出されている。

女沢遺跡

米倉山の北側、小平沢遺跡より1段低い所に立地する。遺跡は南北に細長く、南側は緩やかな斜面になっており、坑No.82からは平安時代の完形の皿、坑No.83からは時期不明の土壙が検出されている。

第1層の暗褐色土（耕作土）中にロームが混入し軟弱であることから、部分的に遺跡が破壊されている可能性がある。

菖蒲池遺跡

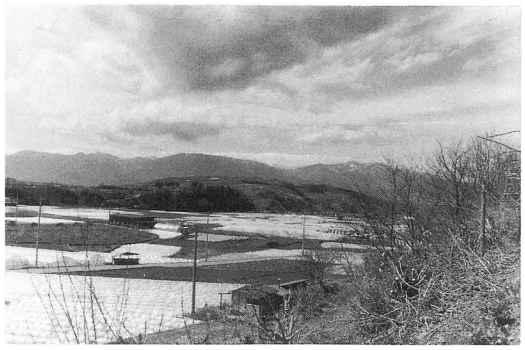
米倉山頂上部から南斜面に向かってのびる遺跡である。頂上部を囲むように湧水地があり、小規模ながら湧水池が今も残されている。

ロームを有する地域は頂上付近に限られており、以外では粘質土層を地山とする。遺構・遺物の検出は前者の試掘坑から多く見られ、弥生時代を中心とする遺跡の可能性が強い。

引用・参考文献

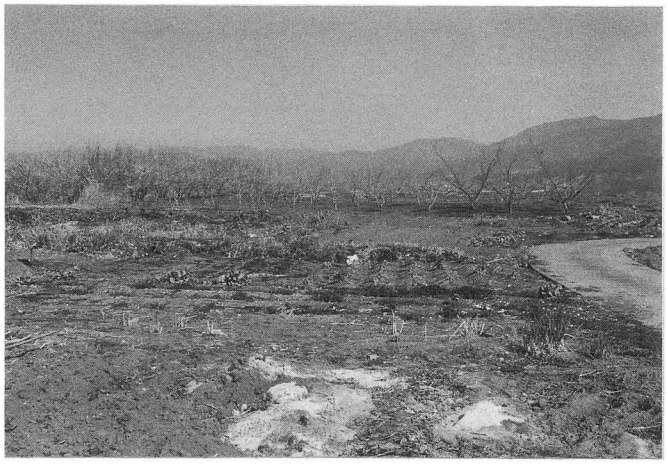
中道町史編纂委員会『中道町史上巻』　1975
釈迦堂遺跡博物館建設促進期成同盟会『釈迦堂遺跡周辺分布調査報告書』　1983
山梨県教育委員会・山梨県企業局『丘の公園地内遺跡範囲確認調査（第1次）報告書－丘の公園第1・2・3・4遺跡－』1987
山梨県教育委員会『山梨県東八代郡中道町上の平遺跡－第4次・第5次発掘調査報告書－』　1987
山梨県教育委員会『清里の森第1遺跡範囲確認調査報告書』　1987

図版 1



米倉山遠景

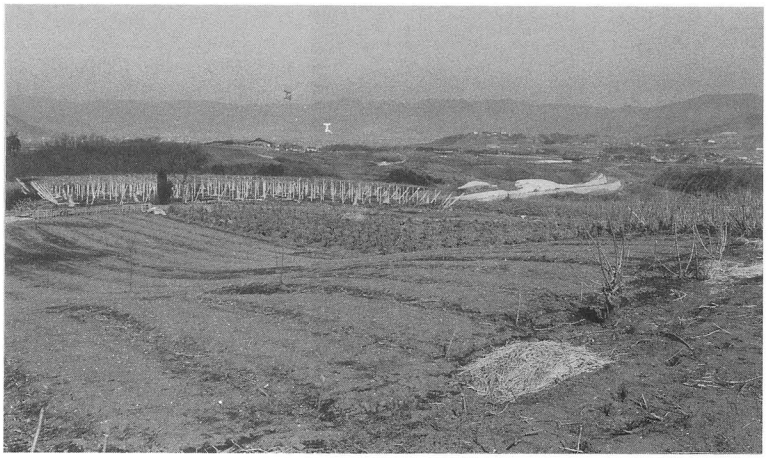
米倉山頂上に
存する菖蒲ヶ池



菖蒲池遺跡

図版２

小平沢遺跡



米倉山Ｂ遺跡

小平遺跡

女沢遺跡

昭和62年度調査
参加者

試掘坑№9

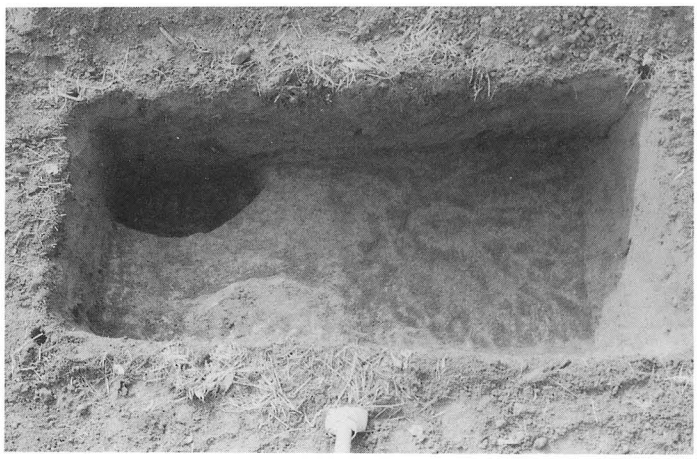
図版４

試掘坑№47

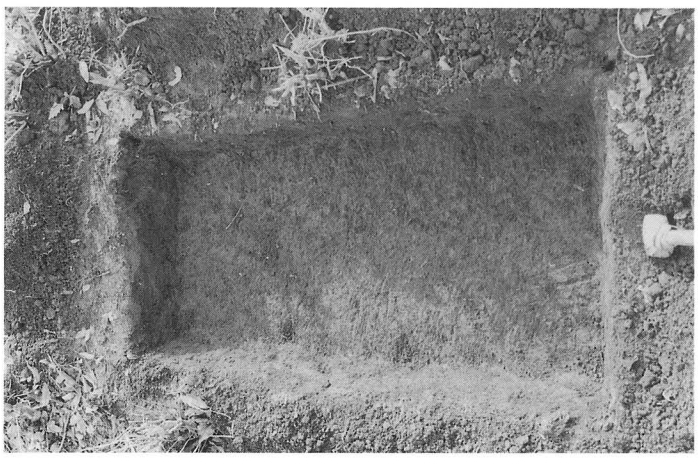
試掘坑№74
土拡

試掘坑№75
石積

試掘坑№82
土器出土状況



試掘坑№83
土拡

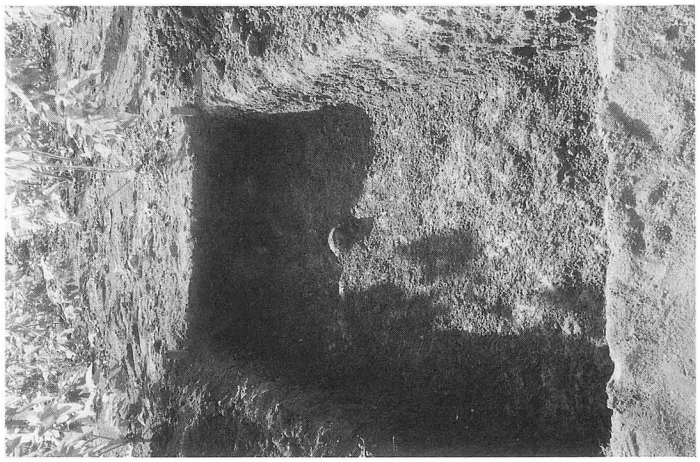


試掘坑№93

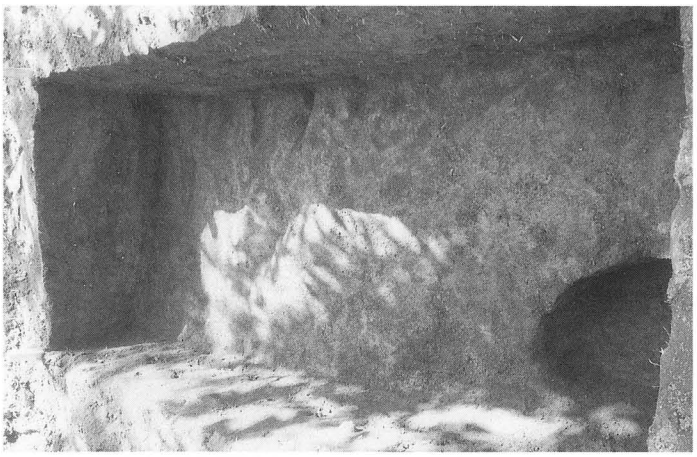
図版６

昭和63年度調査
参加者

作業風景

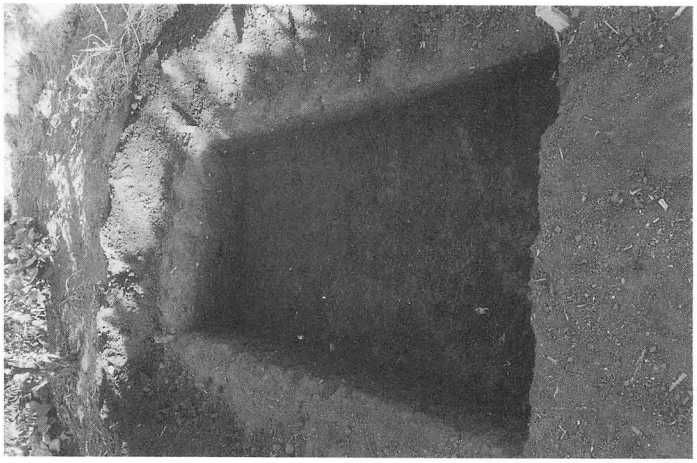


試掘坑№１



試掘坑№13

同上土拡



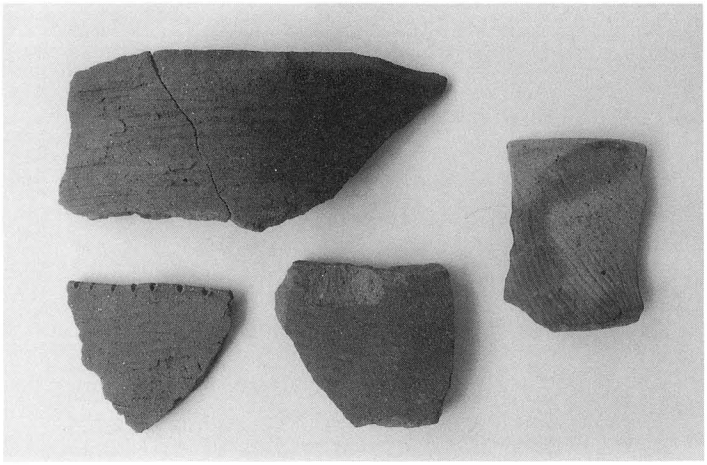
試掘坑№17

図版8

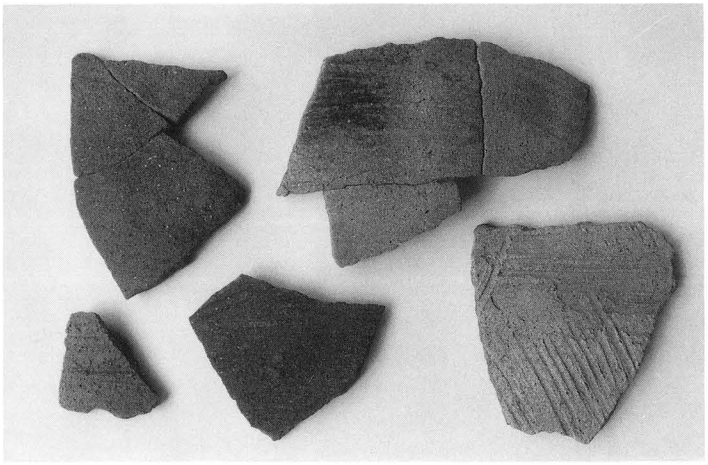
昭和62年度調査
試掘坑№48出土土器

同上№82出土土器

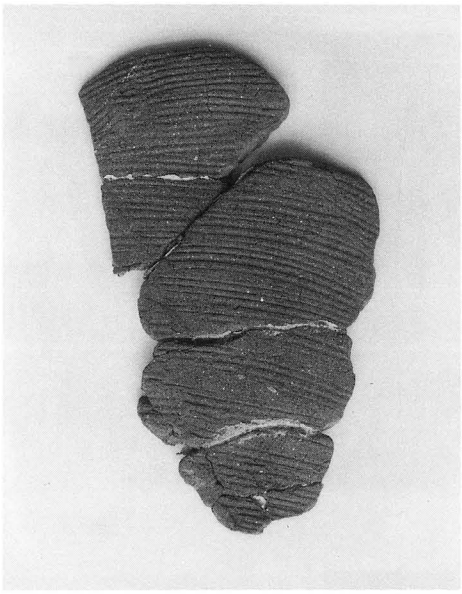
同上№74出土土器



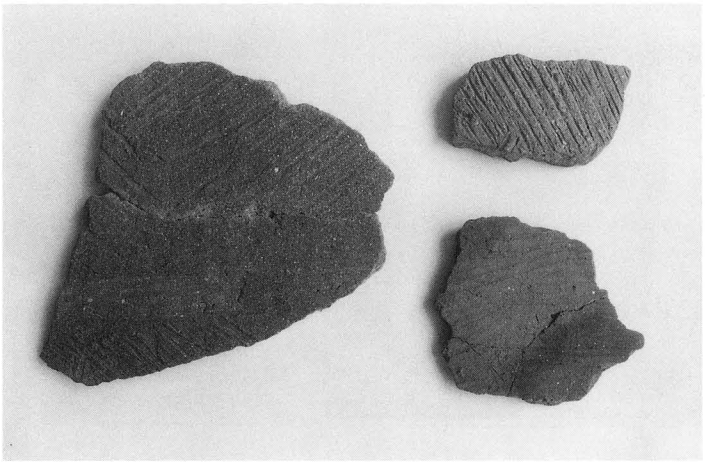
昭和62年度調査
出土土器(1)



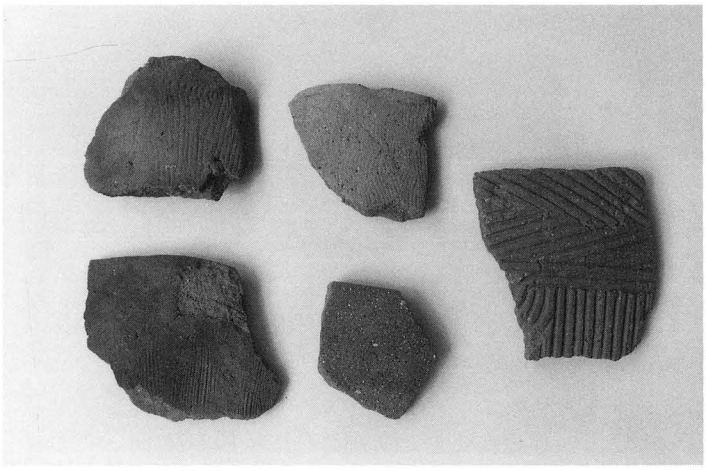
同上(2)



昭和62年度調査
試掘坑№56出土土器

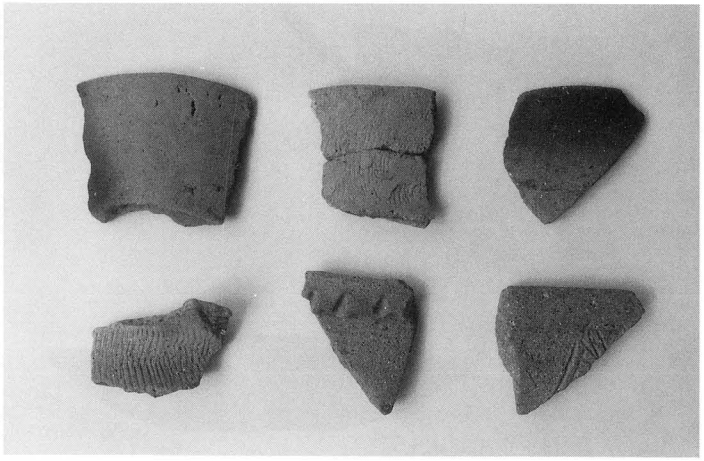


昭和62年度調査
出土土器(3)

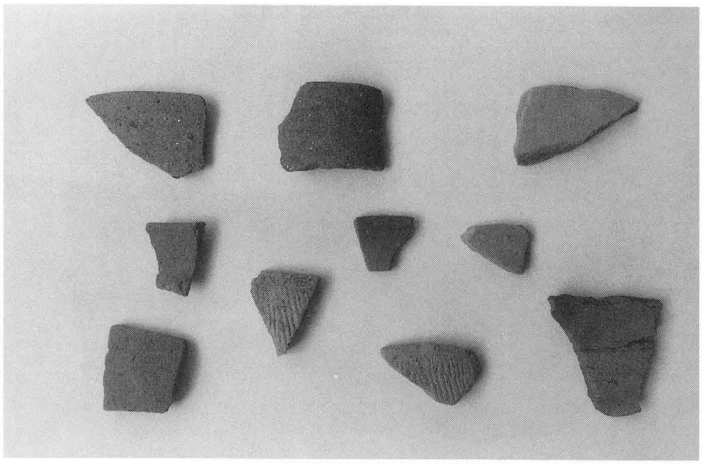


同上(4)

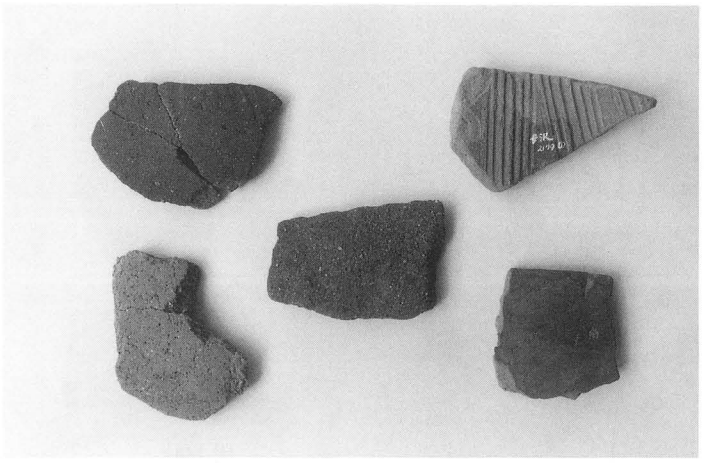
図版10



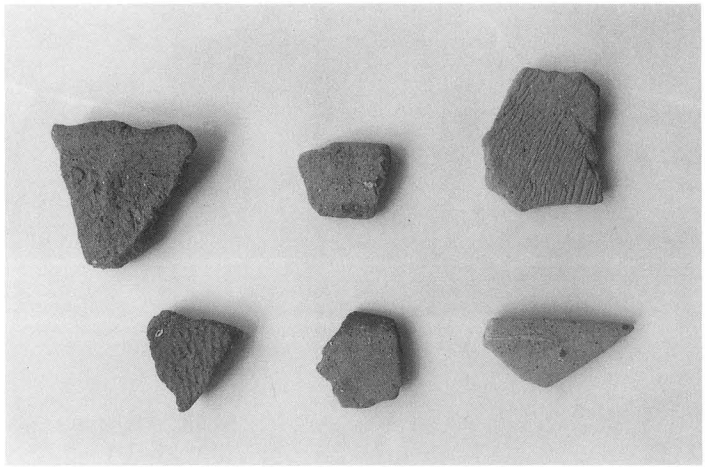
昭和62年度調査
出土土器(5)



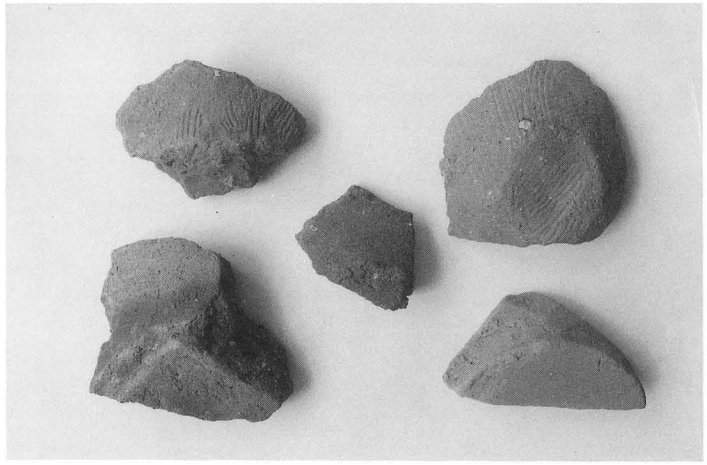
同上(6)



同上(7)



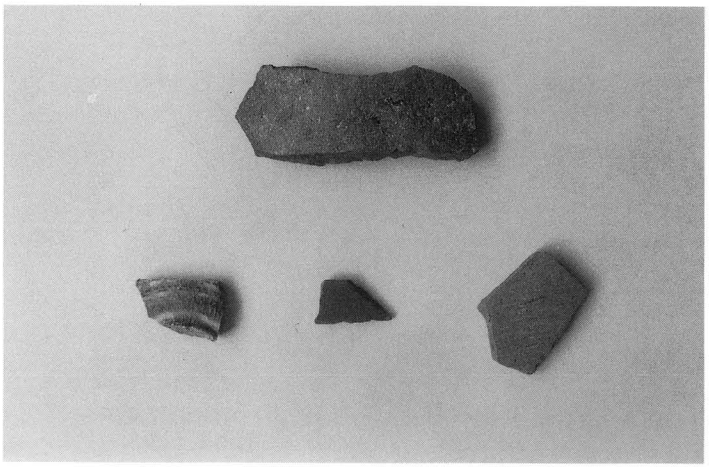
昭和62年度調査
出土土器(8)



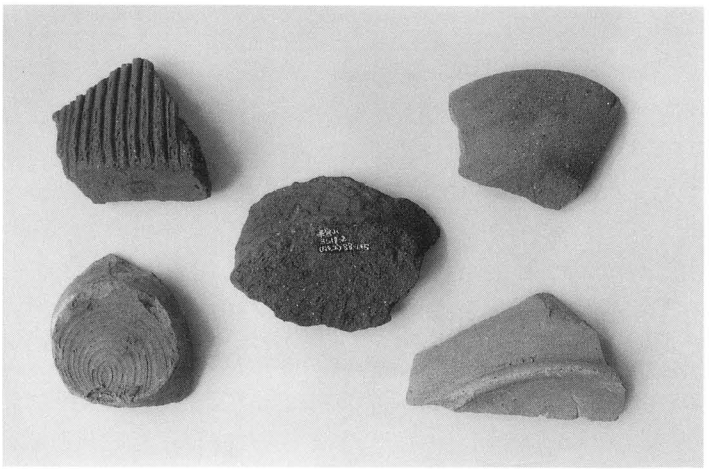
同上(9)

昭和62年度調査
出土石器

図版12



昭和63年度調査
出土土器(1)



同上(2)

1989年３月25日印刷
1989年３月31日発行

米倉山地域遺跡詳細分布調査
報告書

発行所　山梨県東八代郡中道町教育委員会
印刷所　デザインオフィス WITH